

⑨東京オリパラレガシー活用事業（山村・木材振興課 みやざきスギ活用推進室）

100百万円

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会で整備される「選手村ビレッジプラザ」に県産材を提供し、大会終了後は県内に持ち帰り、レガシーとして活用する等、国内外から注目されるオリパラの情報発信効果を活用し、県産材利用をPRすることにより、県産材の新たな需要開拓に繋げる。

(1) 県産材の調達及び加工



[梁材（構造用製材）100m<sup>3</sup>]



(2) 材料運搬（宮崎⇒東京）



[加工材料の一時保管・運搬]



○ 2020東京オリパラ大会開催



[ビレッジプラザ内観イメージ]



(3) 材料運搬（東京⇒宮崎）



[東京大会終了後、材料持ち帰り]

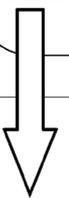


オリパラレガシー活用庁内検討会議



[2026宮崎国体施設、木花運動公園での木製エントランス、木製回廊など、県のシンボルとなる

活用方法等を全庁的に検討]



反映

(4) レガシーとしての活用



木製エントランス（イメージ）



木製回廊（イメージ）



県産材利用の普及啓発・PRを図り、資源の循環利用の森林づくりに資する

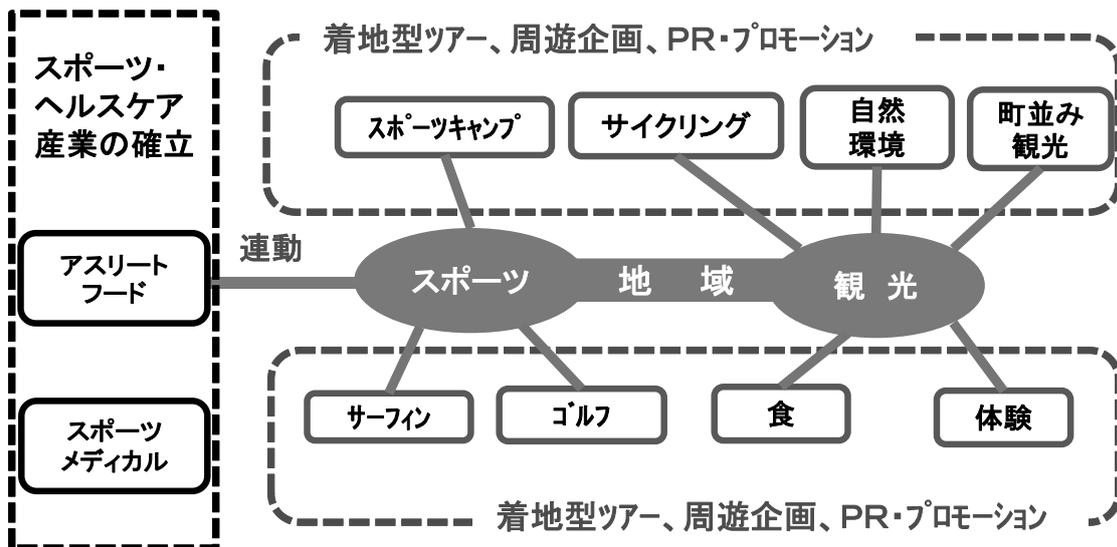
⑨ 「スポーツランドみやざき」を生かしたまちづくり推進事業（観光推進課）

64百万円

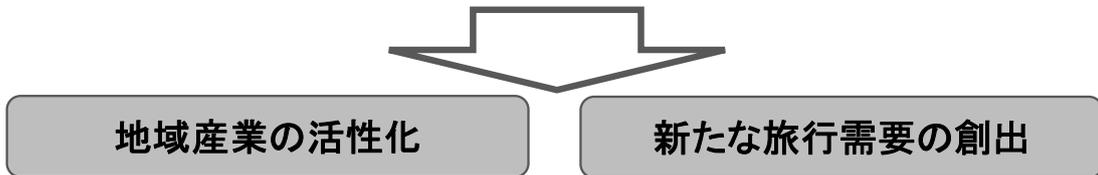
「スポーツランドみやざき」の強みを生かし、キャンプ地以外の周遊観光等を促進する取組などを行うことにより、県内各地への効果の波及を図る。また、本県の新たなスポーツ観光の魅力であるサイクリング等のスポーツツーリズムの取組等を推進することにより、「スポーツランドみやざき」を生かしたまちづくりを実現する。

- (1) 「観るスポーツ」消費額拡大プロジェクト
  - ① 観光消費額を拡大するための取組  
プロスポーツキャンプ観戦と周遊観光を組み合わせた着地型観光ツアー等の実施
  - ② 誘客に結びつけるためのプロモーションの強化  
キャンプ見学やスポーツ観光に加え、観光地や食等を絡めたHP等の作成
- (2) 「するスポーツ」誘致拡大プロジェクト
  - ① サイクルツーリズムを確立するため、旅行商品化に向けたツアーガイドの養成や道の駅等でのサイクルスタンド設置などの受入環境整備等
  - ② 首都圏等のゴルフ客をターゲットに、メディア等と連動した一体的な誘客対策等の実施
  - ③ 首都圏等での効果的な媒体等を活用したスポーツツーリズムのプロモーション等

〇「スポーツランドみやざき」を生かしたまちづくりイメージ



参加者等へのアンケート調査等を行い、スポーツ観光の効果検証とリピーター獲得につなげる。



**○スポーツランドみやざき誘客促進事業（観光推進課）**

**35百万円**

地域間競争が激化する中、温暖な気候や充実した施設、スポーツメディカルの取組など本県のスポーツ環境の優位性をアピールし、スポーツキャンプやスポーツイベントの誘致を図るとともに、受入環境の更なる向上により、「スポーツランドみやざき」の推進強化を図る。

- (1) スポーツキャンプ・合宿等受入支援
- (2) スポーツイベント等開催支援
- (3) 誘致セールス等
- (4) スポーツメディカルの推進



侍ジャパン合宿



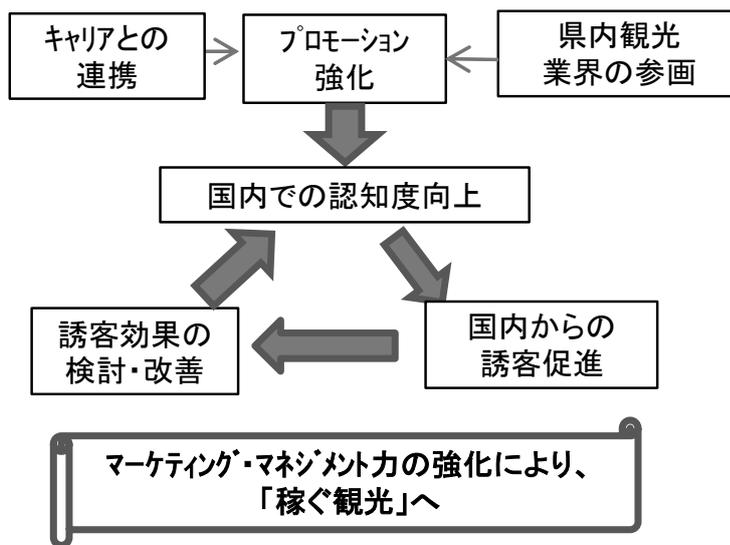
合宿誘致セミナー

**㊦交通機関等と連携した国内誘客対策強化事業（観光推進課）**

**20百万円**

交通機関や観光関連産業と連携しながら、「神話」や「食」といった宮崎県が優位性をもつ観光コンテンツについて、県外でのプロモーション強化を図ることで、本県への更なる誘客を図る。

- (1) 交通機関と連携したプロモーション事業  
交通機関とタイアップし、各媒体を使ったプロモーションを強化するとともに、旅行会社等を招へいすることにより、新たな旅行商品を造成
- (2) 県内観光業界が参画した誘客効果の高いキャンペーン事業  
県内観光業界の参画のもと、誘客効果が期待できる本県の強みを生かした話題性のあるキャンペーン企画の旅行商品化



⑨ 海外市場誘客促進PR事業（観光推進課）

8百万円

ラグビーワールドカップ2019や2020東京オリンピック・パラリンピック等、各種国際大会の開催を機に増加が予想される訪日外国人を本県に誘客するため、これまで誘客対策を行ってきた国や地域に加え、欧米豪をはじめとする国等に対し、各国のメディア等を活用したPR等を実施し、本県の認知度向上を図る。

(1) インバウンド重点市場のPR強化

LC Cが新規就航した韓国及び増便される台湾におけるPR強化

(2) 東京オリパラ等FIT（外国人個人旅行者）の誘客加速化

欧米豪をはじめとする国等における著名旅行ガイドブック等を活用したPR実施



メディアによる酒蔵取材



路面電車ラッピング

⑩ 東京オリパラ等合宿・大会誘致受入推進事業（観光推進課）

187百万円

ラグビーワールドカップ2019や2020東京オリンピック・パラリンピックなどへ向けた国内外代表チームの事前合宿や、大規模な大会開催を実現することにより、選手、スタッフはもとより、多くの観客やマスメディアを本県に呼び込み、経済の活性化を図るとともに、「スポーツランドみやぎ」の更なるブランド力向上へとつなげる。

(1) 東京オリパラ等事前合宿の誘致

・ターゲットとなる国・競技団体等との交渉や情報収集を行うキーパーソンへの委託

(2) 東京オリパラ等代表チームの受入れ

・本県の視察や合宿受入れ、県民との国際交流等に係る費用の一部負担

(3) 大規模大会誘致開催支援

・東京オリパラにつながる大規模スポーツ大会の誘致

・大会開催に必要な経費の支援

(4) 合宿受入施設のグレードアップ

・サンマリスタジアム宮崎に隣接する屋内型ブルペン等の新設



世界ジュニアサーフィン選手権大会の開会式



イングランドラグビー協会によるクリニック

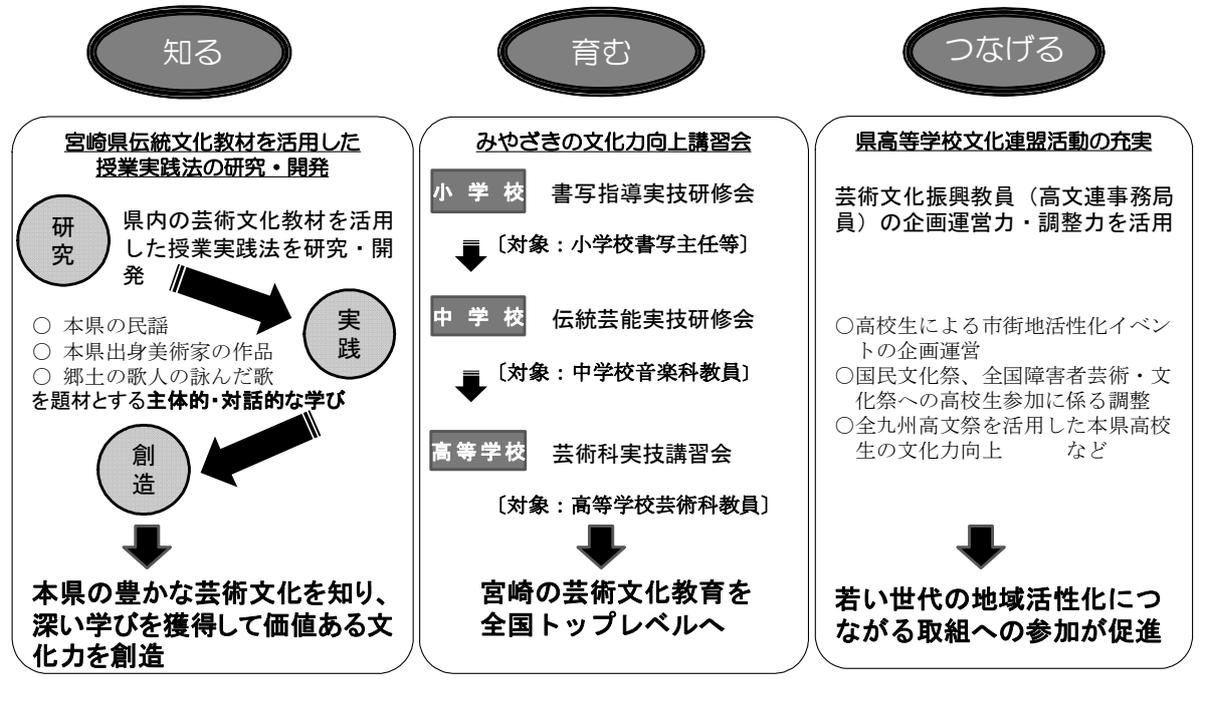
**㊦宮崎の豊かな未来をつくる芸術教育総合支援事業（学校政策課） 2百万円**

本県の子どもたちが郷土宮崎の豊かな芸術文化資源を「知る」「育む」「つなげる」ことができるよう、指導者の実技力向上を図り、事業実践法を研究・開発するなど、芸術文化教育の総合的な支援を行う。

- (1) 宮崎県伝統文化教材を活用した授業実践法の研究・開発
  - ① 芸術科（音楽・美術・書道）教員による本県の民謡、神楽、本県ゆかりの画家の作品等を授業で活用できる教材の開発や郷土の歌人が詠んだ歌の活用等の研究
  - ② 開発した教材を活用した深い学びにつながる授業実践法の研究・開発
- (2) みやざきの文化力向上講習会
 

我が国トップレベルの専門家を講師に招き、高度かつ最先端の技能を体感できる講習会・研修会の開催
- (3) 県高等学校文化連盟活動の充実
 

本県で開催される国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭へ向けて、高校生の文化力を育み、高校生の参加に係る連絡調整を図るための県高等学校文化連盟活動の充実



**○県立学校を拠点とした芸術文化体験プログラム事業（学校政策課） 4百万円**

主として高校生を対象としたハイレベルな芸術鑑賞事業を展開することにより、生徒が生涯にわたって芸術文化に親しみ、豊かな心を育むことを目指す。

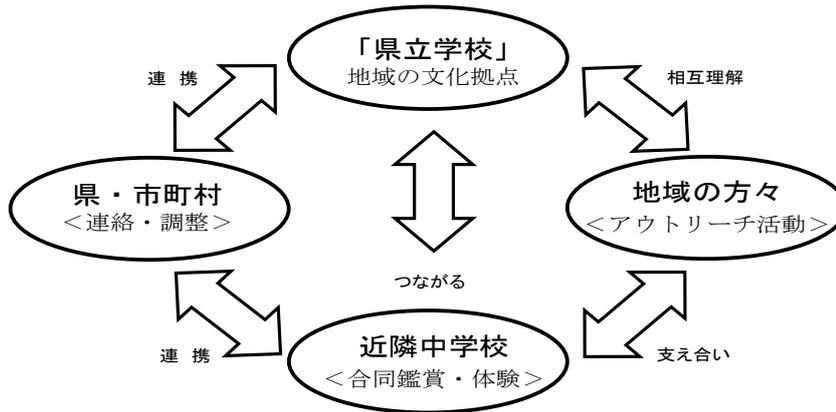
また、実施対象となる県立学校が近隣の中学生や地域の方々に鑑賞を呼びかけることにより、中高連携や学校理解につなげるなど、県立学校が芸術文化体験の拠点として「連携し、支え合い、つながる」プログラムを考案・実施することで、地域活性化に貢献する。

(1) プロフェッショナル・コンサート〔4公演〕

日本音楽を含む各種音楽や舞台芸術で、我が国を代表する出演者による少人数編成の音楽公演及び舞台公演を実施

(2) 日本のこころに親しむ（古典芸能公演）〔4公演〕

狂言などの古典芸能で、人間国宝などの出演者による舞台公演を実施



県立学校（県立中、県立高、中等教育学校、特別支援学校）が地域の文化拠点へ！

**㊦みやざき心のバリアフリー推進事業（特別支援教育室） 5百万円**

障がいのある児童生徒等と障がいのない児童生徒等と一緒に文化・芸術・スポーツ活動を通じた交流及び共同学習を実施するとともに、その取組を広く紹介することなどにより障がいへの理解（心のバリアフリー）を広げながら、個性や多様性を尊重する共生社会を目指した人づくりの推進を図る。

交流及び共同学習（特別支援学校と小・中・高等学校等間の交流）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>障がいのあるアスリートや芸術家等との交流 (例) ゴールボール選手、写真家等との交流</li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>障がい者スポーツや文化・芸術活動の体験 (例) フライングディスクの体験、美術作品の共同製作</li> </ul> 
理解啓発活動	
<p>【各学校】 交流及び共同学習の取組を紹介 (例) 学校新聞、文化祭などの発表</p>	<p>【県教育委員会】 心のバリアフリー・フォーラムの開催 (内容) 高校生による取組の紹介など</p>
高校生が主体となる「心のバリアフリー」活動	
<p>(取組例)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保育施設や高齢者施設へのボランティア活動</li> <li>工業高校生によるボッチャ競技のための補助具の製作</li> <li>農業高校生によるグリーンセラピー</li> </ul>	

**◎国民体育大会の開催に向けた取組** **476百万円**

2026年の2巡目国体開催に向け、施設整備などの必要な準備とともに、本県代表選手が地元大会で活躍できるよう競技力向上に取り組む。

**○県有体育施設整備事業（国体・高校総体準備室）** **290百万円**

関係市及び競技団体等と連携を図りながら、陸上競技場、体育館及びプールの整備を計画的に実施する。

**○国民体育大会開催準備事業（国体・高校総体準備室）** **10百万円**

県準備委員会の総会など必要な会議を開催し、会場の選定、競技役員の養成、広報活動等に取り組み、開催に必要な準備を行う。

**㊦みやざきの次代を担う少年競技力育成事業（スポーツ振興課）** **42百万円**

高校生スポーツの競技力向上に向けた取組を重点的に支援するとともに、次代を担う小・中学生の段階に応じた競技力の育成を図る。

**㊦国体選手サポート強化事業（スポーツ振興課）** **8百万円**

本県選手が安心して競技に打ち込めるよう、メディカル、メンタル面からのサポートをはじめ、有望選手の県内定着に向け環境を整備する。

**㊦国体選手強化事業（スポーツ振興課）** **29百万円**

中学生、高校生、大学・社会人の競技力を系統的、競技別に強化する。

**○競技力向上推進事業（スポーツ振興課）** **65百万円**

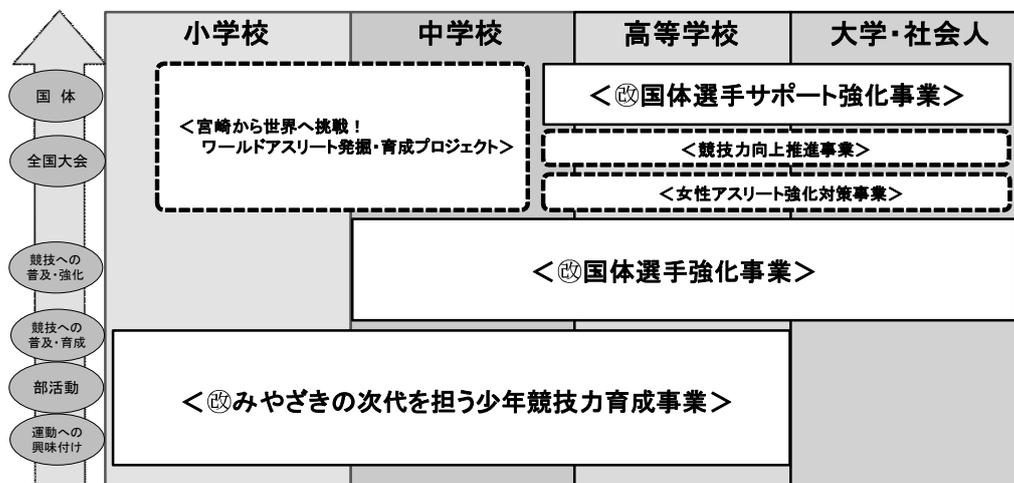
競技団体が実施する強化対策のための遠征や直前合宿等に要する費用を支援する。

**○女性アスリート強化対策事業（スポーツ振興課）** **6百万円**

ふるさと選手や有望選手に対する遠征費等の支援をはじめ、大会参加に当たっての課題解決のサポートなどを行い、女性アスリートの競技力向上を図る。

**○宮崎から世界へ挑戦！ワールドアスリート発掘・育成プロジェクト**  
**（スポーツ振興課）28百万円**

体力・運動能力に優れた小学生を選考し、将来、本県や日本のリーダーとしてスポーツ界を牽引できる人材の育成を図る。



競技力向上に向けた取組

**㊤スポーツで人が輝く元気な宮崎に！スポーツ習慣化促進事業（スポーツ振興課）**  
**5百万円**

県民が生涯にわたって心身ともに健康で文化的な生活を営む上で必要なスポーツの習慣化を目指し、行政、総合型地域スポーツクラブ、スポーツ推進委員がそれぞれの立場・役割に応じて、1130県民運動（1週間に1回以上、30分以上の運動・スポーツ）を推進する。



